幼児の教育　第一〇六巻　第五号　平成十九年五月一日(毎月一回発行)昭和二十三年四月十五日第三種郵便物認可

最新刊

行事別保育のアイデアシリーズ

日々の保育にうるおいと心地よい緊張感を与えてくれる
「園行事」のアイデアを豊富に紹介する実技シリーズ

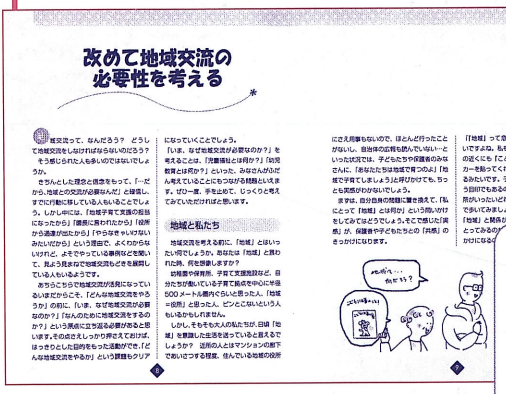
行事別保育のアイデアシリーズ 9

いま、なぜ？ 地域交流 Part 1

杉山千佳　編著

核家族化や少子化が進み、家庭内だけでは子育てが難しい時代を迎えています。本書は、子育て支援の立場から、地域の親・園児の保護者・保育者たちが気軽に参加したくなるような取り組み方・交流活動のヒントなどをわかりやすく紹介。地域で一緒に子育てをする楽しみ・喜びを伝えます。

378-09


改めて地域交流の必要性を考える

地域交流って、なんだろう？　どうして地域交流をしなければならないのだろう？

そう感じられた人も多いのではないでしょうか。

きちんとした理念と信念をもって、「一度から、地域との交流が必要なんだ」と確信はしますでに行動に移している人もいることでしょう。しかし中には、「地域子育て支援の担当になったから」「園長に言われたから」「保育から逃げだしたから」「やらなきゃいけないみたいだから」という理由で、よくわからないけれど、よそでやっている事例などを聞いて、真似る見まねで地域交流もどきを展開している人もいるようです。

あちらこちらで地域交流が活発になっているいまだからこそ、「どんな地域交流をやろうか」の前に、「いま、なぜ地域交流が必要なのか？」「なんのために地域交流をするのか？」という原点に立ち返る必要があると思います。そののさえしっかり押さえておけば、ほっそりとした目的をもった活動ができ、「どんな地域交流をやるか」という課題もクリアになっていくことでしょう。

「いま、なぜ地域交流が必要なのか？」を考えることは、「児童福祉とは何か？」「幼児教育とは何か？」といった、みなさんがふだん考えていることにもつながる問題とします。ぜひ一緒、手をとおで、じっくりと考えてみていただければと思います。

地域と私たち

地域交流を考えるのに、「地域」といったい何でしょうか。あなたは「地域」と言われた時、何を想像しますか？

地域差や世代間、子育て支援施設など、自分たちが暮らしている子育て現代を中心に半径500メートル圏内くらいと思ったん、「地域=校区」と言ったん、ピンとこないという人もいるかもしれません。

しかし、そもそも大人のみなさんが、日頃「地域」を意識した生活をおくっていると言えるでしょうか？　近所の人とはマンションの数千であり立ち寄る程度、住んでいる地域の校所にの天所事もないので、ほとんど行ったことがない。自治体の広報も読んでいない…といった状況では、子どもたちや保護者のみなさんに、「あなたたちは地域で育つのよ」「地域で育ってしまいましょう」と呼びかけても、ちっとも実感がわかないでしょう。

まずは、自分自身の問題に置き換えて、「私にとって「地域」とは何か」という問いかけをしてみてはどうでしょう。そこで感じた「疑問」が、保護者や子どもたちとの「共感」のきっかけになります。

「地域」って何…

「地域って…何だ？」

26×21cm／96頁
定価2,310円（税込）

CONTENTS

はじめに
第１章 いま、なぜ地域交流？
改めて地域交流の必要性を考える
「子ども家庭福祉」の意識をもつ
誰のための地域交流？
子育ちについて
親育ちについて
親子関係・家族関係育て
地域育て
言い出しっぺは、誰？
実際に地域交流を始めるその前に…
第２章 ここが聞きたい、地域交流
Q&A
第３章 事例集
おわりに

定価　五五〇円（本体五二四円）☆

キンダーブックの
フレーベル館
くわしくはフレーベル館代理店・特約店・支社・支店・営業所または本社営業総括部（03）5395-6608にお問い合わせください。